

性格・価値観分析

現代の会社や組織で求められる性格面や、キャリアに対して大切にしている価値観の診断結果です。

1. 性格特性

会社や組織における活動のベースとなる、性格・気質をみています。

項目名	偏差値	定義	各項目のレベル				
			2%	14%	68%	14%	2%
主体性	70	自ら積極的に責任を持って動く					
変革性	65	現状に満足せず、変化・変革を好む					
外向性	62	活動的に人と関わる					
持続性	31	粘り強くやり続ける					
協調性	47	周囲との調和を好む					

2. 創造的思考性

何かを創りあげる際の思考傾向をみています。新たな商品やサービスを創造するためには、拡散思考と収束思考の両方の思考が必要になります。

項目名	偏差値	定義	各項目のレベル				
			2%	14%	68%	14%	2%
発想性(拡散思考)	59	新しいアイデアを考えつき、拡散させる					
論理性(収束思考)	53	筋道立てて論理的に思考し、収束させる					

3. コミュニケーション力

会社や組織で円滑な人間関係を築くための基礎にあたる力をみています。

項目名	偏差値	定義	各項目のレベル				
			2%	14%	68%	14%	2%
意思伝達力	53	自分の考えをしっかりと伝えることができる					
論理的表現力	62	筋道立てて説明したり文章にできる					
好感表現力	45	感じの良さを意図的に表現できる					
対人調和力	45	相手の意図や感情を理解し、配慮できる					

4. エネルギー量

様々な活動を支える基礎的なパワーをみています。社会が豊かになると低下傾向になります。

項目名	偏差値	定義	各項目のレベル				
			2%	14%	68%	14%	2%
行動性	64	考えるよりも行動が先					
競争性	56	相手に勝つことにこだわる					
野心性	72	成りあがるようとする気持ちは強い					
決断性	68	決断が速い					

5. ストレス耐性

各種のストレス(刺激によって引き起こされる緊張)に対して、どの程度耐えうる特性を持っているかをみています。

種類	得点	得点				状態
		←耐性がない 20	40	60	耐性がある→ 80	
人付き合い	68					問題なし
仕事の負荷量	66					やや注意
理想と現実とのギャップ	66					やや注意
評価・評判	53					要注意

【問題なし】…業務遂行において問題のないレベルです。
【やや注意】…ストレスによっては注意が必要なレベルです
【要注意】…ケアが必要となるレベルです。

6. キャリアタイプ指向性

仕事に対する価値観をみています。一般の社会人は体験を元に形成されますが、学生・第二新卒の場合は希望・願望を表しています。

タイプ名	得点	特徴
経営幹部	88	様々な人の力を結集して成果を生み出し、組織の期待に応える
アントレプレナー	43	自らの力で障害を乗り越え、何か新しいものを創り出す
チャレンジャー	66	困難と思える問題の解決や手ごわい相手に打ち勝とうとする
自立	87	組織のルールに縛られず、自分のやり方で仕事を進める
スペシャリスト	33	特定分野内で自分の能力や技術を磨き、自分らしさを確立する
安定志向	62	組織内で、安定したキャリアや処遇を好む
私生活重視	73	仕事よりも、プライベートの充実を目指す
社会奉仕	54	自分の求める社会の実現や他者の救済に役立つことに関わる

7. 職務適性

同職種における職務内容が多様化していることから、従来の職種適性ではなく職務適性をみています。

職務	低			高			職務	低			高		
	適性レベル	適性レベル	適性レベル	適性レベル	適性レベル	適性レベル		適性レベル	適性レベル	適性レベル	適性レベル	適性レベル	
多くの人と接し、サービスする							知識を深め、探究していく						
他者と連携・協調していく							自分の判断で自律的に進める						
専門性を身につけ、活かす							基本に従って典型的に進める						
正確かつ着実に進める							迅速に判断して進める						
新しいアイデアを生み出す							合理的に物事を進める						

8. 総合特徴

性格特性、創造的思考性、コミュニケーション力、エネルギー量、ストレス耐性、キャリアタイプ指向性の診断結果の特徴をコメントにまとめています。

自分の意思で判断し、その実現に向かって自ら積極的に行動する姿勢を強く持った、主体者意識の強いタイプである。また、変化・変革を前向きに捉える姿勢もある。一方で無理と感じると、早々にあきらめてしまい、困難なことや地道な努力を避けていこうとする傾向が強くみられる。

創造的思考性においては、既存の概念にとらわれることなく、自由な発想でアイデアを膨らませ、自らのアイデアを活かしていこうとする姿勢がみられる。

コミュニケーションにおいては自分の考え方や提案を論理的に伝える姿勢が強く、筋道を立てて説明したり、わかりやすく文章に表すことができる。ただ、相手を尊重するために、相手の気持ちや感情を正しく感じ取ったり、要望や期待を受け入れていくことはやや苦手なようである。

野心的で、覇気や意気込みに溢れ、望みを高く持って物事に取り組む傾向が強くみられる。その一方、上昇志向がやや低く、競争心を持って取り組む傾向が若干弱い。

人付き合いへのストレス耐性は高く、人と長時間付き合ふことや、周囲の人の考えや気持ちなどにあまりストレスを感じることなく、自分のペースを守って仕事に取り組むことができる。ただ、評価・評判に対するストレス耐性はそれほど高くなく、他者から自分がどのように評価されているかが気になってしまい、ストレスをためる可能性もある。

キャリアについては、自らが中心となって、様々な人の力を結集して成長を生み出していき、その成果にも責任を負い、組織の期待に応えることを指向している。一方、特定分野で自分の能力やスキルを成長させ、活用させることで組織に貢献することはあまり指向していない。

9. 注意すべき点

回答結果の信憑性について、「一貫性」、「虚偽性」の2つの観点でみています。

一貫性			虚偽性		
問題なし	やや欠ける	欠ける	問題なし	やや高い	高い
	★		★		

「一貫性」は受検者の回答結果の矛盾を確認しています。一貫性に欠ける場合は、真剣に回答していない可能性が高く、注意が必要です。

「虚偽性」は受検者の回答結果から虚偽の傾向を確認しています。虚偽性が高い場合は、自分を良く見せようとする意識が強く、注意が必要です。

memo